

平成25年度 第3回朝日地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成25年11月6日（水）13:30～14:45
2. 開催場所 朝日支所 2階 第1会議室
3. 出席委員 忠隆司、遠山榮作、本間進二、本間太一、大滝重秋、大場美子
小池徹、佐藤利子
4. 欠席委員 島田好、鈴木芳太郎、中山好栄、大滝由博
5. 出席職員 地域振興課：本間支所長、岩沢課長補佐、五十嵐副参事、玉木係長
(事務局) 中山主査、島田主査
産業建設課：齋藤係長
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第3回 朝日地区地域審議会 会議次第

日 時 平成25年11月6日(水)
午後1時30分～

場 所 朝日支所 2階 第1会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) ゴールドパーク鳴海の今後の運営について

(2) 朝日地区地域活性化推進事業について

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1. 開会

事務局； 定刻になりましたので、ただ今から平成25年度第3回朝日地区地域審議会を開催いたします。今日、島田会長から連絡があり、体調不良のため欠席させていただきますとのことでした。地域審議会協議書第4条第5項の規定により、本日、忠副会長に会長代理をお願いいたします。また、鈴木芳太郎委員、中山好栄委員、大滝由博委員から欠席の連絡を受けております。

2. あいさつ

副会長； ご苦労さまです。本日、島田会長が体調不良により欠席だということを今ほど聞きまして戸惑っておりますが、今日3回目の地域審議会ということで、議題としまして召集の文書に書いてありました地域活性化推進事業について、みなさんにも考えてきていただくというテーマも与えられておりましたし、その他にゴールドパーク鳴海の今後の運営についてということで議題がありますのでよろしくお願いいたします。

3. 議事

(1) ゴールドパーク鳴海の今後の運営について

副会長； 議事に入らせていただきます。(1) ゴールドパーク鳴海の今後の運営について、事務局から説明をお願いします。

事務局； ゴールドパーク鳴海につきましては、合併前の平成2年から営業していましたが、費用対効果もあり、決定ではありませんが、今後の方針として施設を廃止したらどうかという声も上がっています。そういうことでみなさまからゴールドパーク鳴海の運営についてご意見をいただきたいと思っております。

【資料1 ゴールドパーク鳴海の利用状況等調べについて説明】

担当としましては、観光施設としてだけではなく、文化財、史跡として保存することもできるのではないかと考えています。

副会長； ただ今、ゴールドパーク鳴海の今後の運営について説明がありましたが、みなさんからご意見やご質問をお願いします。

委員； 私も地元で大切な施設ですので話をさせていただきます。

鳴海金山が観光施設になる前、45年くらい前に調査団として入ってものすごい感銘を受けました。大千畳は入口から50メートルくらい入って高さも非常に高く、天井を見上げるとコウモリが1メートルくらい連なっていました。足元はコウモリの糞が積み重なり、まるで絨毯の上を歩くようで本当にすごいと感じました。

しかし、施設としてできたときはがっかりしました。「これは何だ」と思いました。昔の面影が全然なく、人が入るので安全性を重視したのでしょうか、しかもライトがレーザー光線でピカピカと照らし、キャバレーにでもいるのかと思いましたが、これで観光に来たみなさんは喜んで帰るのかなと疑問に感じま

した。当時はそれでよしとしてやったのでしょうから、われわれもしようがないと思いました。オープンした当時は入場者も多かったと思います。

スーパー林道も金山まで高根から行くと40分ですが、発電所のほうから行くと2時間かかります。今一番感じているのは、山形県のほうにスムーズに越えられるような道路であればもっと人は来るのではないかと思います。残念ながら県境を越えると山形県のほうではまだ道が悪いです。今年の春も山形県側と新潟県、村上市と毎年交流会を行っており私も参加しましたが、何とか山形県側も道路を直してくださいとお願いしましたが、優先順位で直せないということでした。大鳥のあたりの集落の道がまだ悪いので、そちらを優先しなければならぬということでした。春からすぐに新潟県から山形県、山形県から新潟県に越えられる状態になっていないので、それが人が行かない理由ではないかと思えます。

また、高根から行くと40分なので、ただそこまで行って戻ってくるのではもったいない気がする。やはり旅行会社を通じて村上市の点を線で結んで、鳴海金山までの誘客を図るような努力をしてもらえば人はもっと来ると思えます。廃止するというような話が出るということは残念な気がしました。

副会長； ほかにどなたかありますか。

委員； 私も1度行ったことがあります。道路が鳴海金山まではいいのですが、そのあと旧山形県朝日村に抜けたことがありますが大変悪路でした。

今、委員が言われたとおり、鳴海金山はまれにみるいい金山だと思いますので、どうすればいいのか、事務局から費用対効果の話がありましたが、それで閉じていいのか大きな疑問符がつきます。やはり、昔そういうふうな形で繁栄したところは、きちんと末代まで残していくようなしかるべき対策が必要であると思えます。特に隣の鶴岡市になりますが、そこの交歓を含めていけば、それなりのものを得ることができる感じがします。

ただ、道路が三面から入っても狭いです。安全対策上、厳しいとは思いますが、お互い知恵を出し合って解決していただきたいと思えます。費用対効果だけではなく、ここになくてはならない文化財であると位置付け、存続の方向でいていただきたいと思えますので、ご努力のほどよろしくをお願いします。

委員； 少し話がずれるかもしれませんが、朝日地区にも文化財として指定されているものがあると思えますが、それが合併して登録されなくなったものもありますか。

事務局； 文化財は村上市に引き継がれていると思えます。朝日の文化財、山北の文化財もそれぞれ継続していると思えます。

委員； 継続しているのであれば、文化財と表示されているわけですが、今でも朝日となっているものがあるので、それが今でも文化財として残っているのかどうか知りたかったものですから。

事務局； 大変失礼しました。合併前に看板や案内板の名称について拾い上げて修正しましたが、見落としたものがあつたものと思えます。所管課に連絡したいと思います。

- 委員； 鳴海金山には行ったことがありません。景色は素晴らしいと思いますが、観光に適した施設なのか、道路は狭いとお聞きしましたが駐車場はどうなっていますか。
- 事務局； 管理棟前後の道路が待避所にもなっており、かなりの駐車スペースがあります。
- 委員； そうしますと景色はいいし、環境もいいようですので何とか継続して欲しいと思いますが、砂金採取はどうなっていますか。
- 事務局； 砂金採取につきましては、毎年買っているわけではありませんが、金額にして10万円相当分の予算を使いまして、砂金が採れた方も2粒までと決めて対応しています。見つけれられる方は何個も見つめますが、見つけれられない方は2時間でも3時間でも見つけれられません。記念としてプラスチックの小瓶に入れて渡しています。
- 委員； 入場者が少ないというのは、おそらく地元に住んでいても私のように行ったことがない人もいると思いますが、やはり道路整備などが足りなかったのではないかと思います。観光バスでも入ればもっと多くの方が来たと思います。
- 事務局； マイクロバスは通れますが、観光バスは開通式の時に一度だけ山形から朝日側に5、6台連なって走ったのが最初で最後でした。
- 委員； この資料を見ると、観光事業としては成り立たない状況であると思います。観光資源と言うよりも歴史もあり文化財だと思います。この事業を廃止する場合に文化財としての保護という面ではどうなるのでしょうか。最低でも保護してもらわなければならないと思います。せっかく整備したのに荒れてしまっはもったいないですし、市としての考えはありますか。
- 事務局； 市の所管としては商工観光課となっており、観光施設として管理を行っていますが、費用対効果の面からも今後の運営について議論しているところです。委員も言われましたが、他の方法として文化財の史跡指定をしていただき活用することが考えられます。文化財として地元の方や遠くから来られる方に現状の8日間程度公開することが可能であると考えます。また文化財として活用するのであればレーザー光線のカラフルな照明は不要となり、中世の狸掘りの跡が見られるなど自然のままの景観を見て学習に役立てるなどして、それが観光とも両立が可能であると考えます。
- 委員； 私も今の意見に賛成です。
- 委員； 今公開している坑道の他にも「あさひ坑」という100メートル以上あるような立坑もありますし、そこには一般の人が入る訳にはいきませんが、ぜひ施設を有効活用していただきたいと思います。
- 委員； 小中学校の子どもたちも行ったことのない子が大勢いると思いますので、学校教育にも生かしてほしいと思います。
- 事務局； みどりの少年団で行ったことがあります。マイクロバスがやっと通れるような道ですし、施設に行くまで車酔いした子どもも何人かいましたので、それでもいいということであればぜひ見ていただきたい素晴らしい施設であると思います。

委員； 高根経由であれば距離も近いですし、全線舗装されているので少しは安心だと思います。

委員； 金山の坑道跡というのは、日本中探してもどこにでもあるという代物ではないと思います。そういう価値を前面に押し出して継続していただきたいと思います。

副会長； ゴールドパーク鳴海について、みなさんいかがですか。観光施設としてでも文化財としてでも朝日地区地域審議会としては残していただきたいという意見でよろしいですか。

委員； 異議なし。

副会長； それでは、地域審議会の意見として意見書を提出するのか、議事録として残すだけでいいのか、今後の対応については事務局で確認してください。

(2) 朝日地区地域活性化推進事業について

副会長； (2) 朝日地区地域活性化推進事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局； それでは、資料に沿って説明させていただきます。

【朝日地区地域活性化推進事業について説明】

副会長； ただ今、事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問をお願いします。また宿題となっておりますが、みなさんから案を出していただきたいと思います。

委員； 案の中で第3回の10月に山菜採りの体験があるが、10月のどんな山菜を考えていますか。

事務局； 6、8、10、12月と計画を立て、秋の味覚ということで山菜としましたが、どれというものはありません。秋ですとキノコくらいしか思いつきませんが、時期としては春でもかまいません。

委員； われわれも前に婚活事業をしたことがあり、その時は一つの会場に男女を集めて飲みながらやりましたが、この計画にあるように体験などイベントをやるのはすごくいいと思います。ただし募集の仕方についてはチラシを配布するだけではなかなか来てくれないので、一本釣りするように結婚に興味がある人を第一に見つけ、引っ張ってこることが必要だと思います。

委員； 委員が言われましたが、募集について事務局はどのように考えていますか。

事務局； チラシや新聞、インターネットでの募集を考えています。

副会長； 1回当たりの参加人数はどれくらいを想定していますか。

事務局； 第1回のバスを考えると30~40人くらいとなりますが、2台借りればその倍は大丈夫ということになります。しかし、予算が50万円ですので2台借りるのは予算的に厳しいと思います。市所有のマイクロバスの利用について内部で検討していますが、それが使えるようになると50~60人でも大丈夫だと思います。

また先ほど鳴海金山の話がありましたが、そこまで行くとなるとマイクロバスでやっといける状況ですが、マイクロバスですと狭いので席替えというのは難しいかなと思います。

委員； 参加者は男女同じくらいの人数になるようにするのでしょうか。また以前行った会では女性が集まらないので、村上病院の看護師や役場の職員、農協の職員などの独身女性に声をかけて、義理でいいので来て下さいとお願いして来ていただきました。あとで聞いた話では何組か成功したと聞きましたが、計画では朝日地区だけの男女を対象にするのですか。

事務局； 朝日地区だけでは対象が少ないと思いますので全国すべてです。インターネットでも募集しますので、東京でもどこでも来ていただきたいと思います。

委員； 男性を朝日地区として女性を集めるのか、女性を朝日地区として男性を集めるのか。

事務局； 男女とも募集したいと考えています。

委員； この計画はパーティーに参加者を募るのではなく、お見合いをセッティングしているものだと思います。最初に嫁を募集している人を集めて、来てくれる人を参加させるのか、まったくフリーで募集するのかがお考えですか。

事務局； そこまでは考えていませんでした。

委員； 朝日地区に住んでいる人が嫁や婿をもらうために朝日地区から選んで、来てくれる人を募集しないとただのパーティーになってしまい、当初の事業の目的から外れてしまうので、募集の仕方はしっかりしなければならないと思います。

副会長； 話を聞くと30人くらいがいいのではないかと思います。あまり多くてごちゃごちゃするよりはいいと思いますし、うまくいけば第2弾、第3弾とやればいいのか。

事務局； 前回審議会で意見のありました、はじめはサークル活動的なものから徐々に仲良くなってもらうということをコンセプトに企画を考えました。事業のタイトルからは明らかに婚活事業だということはわかりますが、サークル活動的なものを打ち出したものです。

委員； 目的ははっきり婚活だったら婚活だと打ち出したほうがいいと思います。うやむやにするのもいいところはあるのですが、定住をさせることが目的なので、やはり結婚してもらうために、はじめから婚活だと前面に出して、たまたま参加者がなくても次年度何回かに分けて、この事業が続く限りやってもいいのではないかと思います。対象年齢ですが、25歳と40歳だと年代が離れすぎて、特に男性は話せないのではないかと思います。

委員； この事業をするにあたりサポーターが必要だと思いますが、そういうイメージはありますか。

テレビ報道で茨城県の配偶者対策の婚活が取り上げられていました。県主催で700人くらいのサポーターを集め、意見交換をして地元に戻り婚活に取り組んでいるマリッジサポーターが紹介されていました。

朝日でももっと広げないと、参加する人たちのことも含めて取り組まないと難しいと思います。今もいるかどうかわかりませんが、お見合いを進めることが上手な男性女性をサポーターとして、手伝いをお願いすることも必要だと感じます。すべて行政が肩に大きな荷物を上げるよりはいいのではないかと思います。

私の職場でも独身者は多いので、職場の中でも企画してはどうかと言うのですが、なかなかできない状況です。年に1度職員を集めてパーティー方式で飲み会をやっているようですが、そこで知り合う方もいるかもしれませんが、特にある程度歳をとった男性は、両親が健在だとあまり話し相手を求める活動をしていないのではないかと感じます。

委員； 朝日地区に嫁に来てもらう、婿に来てもらうという話の中から計画していますが、この4回のイベントの中で迎える側が、例えば朝日のいいとこめぐりをしたときに、朝日以外の人に「ここは何々です」という説明をする仕事を与え、相手に対し話すきっかけをつくってやると入りやすいのではないかと。はいどうぞと言っても話せないと思います。クリスマスパーティーだとなおさらハードルが高いので、おもてなしの仕事を与えれば話しやすいと思います。

委員； 1回目から参加して、1回目は良かったと広まれば、2回目にまた行こうと思うし、仲間も呼んでくれるかもしれません。あまり説明されたり、ベラベラしゃべられると嫌がる人もいると思います。

委員； 朝日はこういうところだとレクチャーするなどして、当日説明するようにすれば話すきっかけになると思います。

委員； 事務局で湯コンのことは知っていますか。

事務局； 名前は知っています。参加したことはありません。

委員； やはり、結婚したいと願望をもっている人を集めなければ結び付かないと思います。前に商工会主催で女性の方を講師に招き、独身男性にいろいろ話を聞かせたことがありました。その中で結婚できない人はこういうタイプが多いと言われて、なるほどと思いました。結婚はしたくないではないが、それほど結婚したい、結婚しなければならぬという意識が低いと思います。

私の同級生から50歳代くらいまでの人も結構独身がいますが、「結婚したくないのか」と聞くと「結婚したい」と答え、「だったらもっと努力すれば」と言うがなかなかしません。私らもいろいろセッティングをしたが、相手に対し結婚して欲しいという行動を見せません。自分も年を取って親の面倒を見だして、嫁さんにも親の面倒を見てもらうことになるので嫁に来てくれないのではないかと考え、ますます女性にアタックしなくなっているようです。

40歳くらいであればいくらでも可能性があると思いますが、50歳、60歳では相当難しいので、イベントをする前にそういった勉強会も必要ではないでしょうか。

副会長； 最初の1回目が大事だと思います。

委員； 各回とも終わった後に懇親会を行う予定はありますか。

事務局； 考えていませんでした。

副会長； 前日も言いましたが、やはりアルコールは必要だと思います。市内を巡るバスツアーはいいと思いますが、盛りだくさんにすると疲れるだけなので、何か体験させて、お互いに何かやるのがいいことだと思います。

委員； 事務局でこの計画を立てるとき独身の男性女性に意見を聞きましたか。

事務局； 特に聞きませんでした。

- 委員； いろいろな考えの人がいるので、独身の方や多くの人に意見を聞いて計画したほうが良いと思います。
- 委員； 若い女性の人が私も参加してみたいという企画ができると思います。
- 委員； 高根にも大学生がやってきますが、つかまえることができません。勇気がないのかなと思います。
- 副会長； 勇気づけるためにもアルコールが必要だと思います。他にご意見や案はありませんか。
- 委員； この事務局で立てた案は良いと思います。
- 副会長； 先ほども言いましたが、一緒に何かやるということをもう少し取り入れたほうが良い気がします。以前、私も仕事でクリスマスパーティーをやったことがありましたが、何をやったのか覚えていません。このときは出会いの場の提供ということで、飲ませて食わせて終わりでも良かったが、今回は結婚定住が目的なので、それを前面に出して良いと思います。
- 委員； 事業名も婚活として目的をはっきりさせて良いと思います。
- 副会長； 企画書の考え方については、みなさんが考えて来たことが網羅されているようですし、詳細についてはみなさんから出た意見を入れ、独身の方の意見を入れながら事務局でまとめていただきたいと思います。
- 委員； 市の労働組合でこういう企画はありますか。
- 事務局； 特に労働組合ではないと思います。
- 委員； 労働組合同士で合コンみたいなもので結婚された方もいると聞きましたので質問しました。
- 事務局； 会議や研修などで知り合う機会はあると思いますが、組合主催で合コンはしていないと思います。
- 副会長； 他にないようですので、今日の意見をふまえ事務局でまとめ、4回目に審議したいと思います。

4. その他

- 会長； 事務局から「その他」について何かありますでしょうか。
- 事務局； 次回の日程について2月中頃をお願いしたいと思いますので、会長と日程調整しまして案内いたします。
- 副会長； 婚活のイベントも事務局からたたき台を作っていただきまして、みなさんからご意見をいただきました。これを踏まえまして次回、企画案の最終決定とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。今日は大変ご苦労さまでした。

5. 閉会 (14:45)